

施策評価シート(令和2年度実績評価)

施策の基本情報

政策No	0302	政策名	学校教育の充実	施策主管課	学校教育課	課長名	佐々木 健一			
政策の目指す姿	夢と希望を持ち、たくましくいきいきと育っています									
施策No	01	施策名	学力・体力の向上	関係課名	学務管理課					
施策の目指す姿	児童生徒の学力・体力が向上しています									
現状と課題										
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力については、小学校児童は県の水準と同程度となっていますが、中学校生徒はやや下回っている状況にあります。 体力・運動能力については、中学校生徒は県や全国の水準を上回っていますが、小学校児童は、やや下回っている状況にあります。 食生活や生活習慣の変化により、肥満傾向の児童生徒の割合が微増傾向にあります。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の学力の向上を目指すために、学校の取組を支援する必要があります。 児童生徒の体力・運動能力の向上を図るため、指導の充実を図る必要があります。 児童生徒の健やかな成長のため、健康診断の結果を踏まえた食生活や生活習慣の改善を図る必要があります。 										
前年度の評価の振り返り										
前年度評価時の今後の方向性										
<ul style="list-style-type: none"> 学力向上で課題のある学校を中心に校内の組織的な取り組みを支援するため、指導主事や学力向上支援員による計画的・意図的な訪問指導（指導対象を教師のみならず、児童生徒や保護者にも説明する機会をつくる）の回数を増やしていく。 小学校3校を体力向上実践推進事業の実践校として指定し、当該実践校における体育の授業の工夫や運動の習慣化を促す取り組み等を各校に広め、市内児童の体力の改善を図る。 										
反映状況										
<ul style="list-style-type: none"> 学力の定着状況に課題のある学校を中心に、意図的・計画的に学力向上支援員による学校訪問を実施した。 学力向上を推進するため、中学生の英語検定および小学生の漢字検定の受験料の補助を実施した。 市内小学校3校を体力向上実践事業における実践校に指定し、各校の特色を生かした基礎体力向上のための取り組みを支援した。 										
1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取組										
<p>(1) 学力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学力向上アクションプラン」の推進 校内研究会への指導主事派遣による授業改善 学力調査等の結果を分析し、各校の学力向上の取組を支援 各校の学力向上の取り組みを支援する「学力向上支援員」を配置 はなまき授業サポーター・中学サポーターによる少人数指導の充実 30人を超える学級を有する小学校に「はなまき授業サポーター」、中学校に「中学サポーター」を配置 新学習指導要領を踏まえた研修会等の実施による教員の授業力向上 指導主事や外部講師等による講義等の実施 <p>(2) 健やかな体の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒への体育指導の充実 教員研修会の実施による授業や取組の改善 体力向上のための特色ある実践的な学校の取組の推進 実践校(3校)を指定し、基礎体力向上のための取り組みを支援 小学校体育連盟及び中学校体育連盟事業に対する支援 各体育連盟事業補助金および県中総体開催補助金を交付 児童生徒に対する検診の実施や学校保健活動の充実 学校給食を通じた食育指導の充実 										
2 成果指標										
成果指標名	成果指標設定の考え方	成果指標の測定方法	単位区分	H29	H30	H31	R02	R03	R04	
小学生の教科学習における基礎基本の定着度（県平均を100とした場合の対比）	岩手県学習定着度状況調査は、児童生徒の実態や指導の状況の評価し分析するツールの一つとして毎年実施しており、児童生徒の学力を測る指標として適当と考える。	小5（国、算、社、理）の県平均を合計し、教科数で割った数値を100として本市と比較する。	目標値	105.00	105.00	105.00	100.20	100.20	100.20	
			実績値	100.00	100.20	99.30				
中学生の教科学習における基礎基本の定着度（県平均を100とした場合の対比）	岩手県学習定着度状況調査は、児童生徒の実態や指導の状況の評価し分析するツールの一つとして毎年実施しており、児童生徒の学力を測る指標として適当と考える。	中2（国、数、英、理、社）の県平均を合計し、教科数で割った数値を100として本市と比較する。	目標値	102.00	103.00	104.00	98.00	99.00	99.50	
			実績値	101.00	97.20	99.30	100.00			
児童生徒の「体力・運動能力調査」の全国平均を上回る項目割合	体力・運動能力調査は、児童生徒の実態を把握し指導の在り方を検討するため毎年実施しており、児童生徒の体力・運動能力を測る指標として適当である。	握力、上体起こし、体前屈、反復横跳び、シャトルラン、50m走、立ち幅跳び、ソフトボール投げ 小中学校全学年を対象に全国平均を上回る項目の割合を測る	目標値	50.00	52.10	54.20	43.00	44.00	45.00	
			実績値	40.60	42.70	27.10	46.90			

3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因
C	<p>「教科学習における基礎基本の定着度」…【達成度 小学校 - 中学校a】 R2年度は例年10月上旬に実施される岩手県学習定着度状況調査が実施されなかったため、小学校の実績値は測定できなかった。また、中学校は2月に実施した英語（英検I B A）を実績値としており、Gアップシートの作成配付や学力向上支援員による訪問指導等の成果が表れている。</p> <p>成果指標「体力・運動能力調査」…【小学校a 中学校c】 R2年度はコロナ禍のため全国的に「体力・運動能力調査」を実施した学校は少なかったものと考えられる。本市では、小学校19校中7校、中学校11校中4校が実施した測定値を実績値とした。小学校は体育の授業改善や日常運動の成果がうかがわれるが、中学校はコロナ禍のため運動部活動が制限され運動量が減少したことが低下の要因の一つであると考えられる。</p> <p>「体力・運動能力調査」の中学生の結果は、目標値68.8%に対し、実績値43.80%だった。</p>

4 施策を構成する事務事業の検証

市民のニーズや市の関与の必要性が低下した事業、 投入コストの割に成果が低い事業、 施策への貢献度の低い事業はないか
<p>・なし</p>
施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか
<p>（学力向上推進事業）本市の重要課題の一つである学力向上について、家庭学習の充実（時間・内容の工夫）を図る必要がある。 （体力向上実践推進事業）体力向上については、実践校（3校）において、体育などの授業に地域の体育指導者等をゲストティーチャーとして招聘し、また、学校内だけでなく家庭と連携して児童生徒の運動の機会を増やすなどの工夫により、運動の習慣化を推進していく必要がある。 （小学校外国語教育推進事業）小学校外国語教育推進事業については、外国語教育支援員が各小学校を巡回し、外国語指導助手（ALT）との連携による効果的な授業の在り方について助言する。</p>
新たに取り組むべき事業はないか
<p>・学力向上のため、岩手県立総合教育センターが作成した中学生向けの数学及び英語の学習定着シート「Gアップシート」を全中学生に配付する。 ・「GIGAスクール構想」を推進するため、ICT支援員を配置し、タブレット端末を活用した授業の充実や教職員のスキルアップを図る。</p>

5 施策の総合的な評価

課題
<p>・小・中学校における学力向上は継続した課題であり、学校によっては県平均を大幅に下回る場合もあることから、各小・中学校の組織的な取組を支援する必要がある。 ・体力向上に向けての取組については、小・中学校ともに運動の習慣化を図り、特に小学校における基礎体力の向上を推進する工夫が必要である。 ・「GIGAスクール構想」を推進するため、ICT教育に係る教職員の指導力向上が必要である。</p>
今後の方向性
<p>・学力向上で課題のある学校を中心に校内の組織的な取組を支援するため、指導主事や学力向上支援員による計画的・意図的な訪問指導（支援対象を教職員のみならず、児童生徒や保護者にも説明する機会をつくる）の回数を増やしていく。 ・小学校3校を体力向上実践推進事業の実践校として指定し、当該実践校における体育の授業改善や運動の習慣化を促す取組等を各校に広め、児童の体力の改善を図る。 ・学校教育課にICT支援員を2名配置し、タブレット端末を活用した授業支援をしたり研修講師を務めたりして、ICT教育に係る教職員の指導力向上を図る。</p>

施策を構成する事務事業一覧

No	事務事業名	担当課	施策への貢献度		
	事業内容(活動実績)		対象	意図	成果
			直結度		
010	学力向上推進事業費	学校教育	間接・少数	直結	-
	学力向上支援員(1人)、はなまき授業サポーター(8人)及び中学サポーター(4人)の配置、教材「Gアッブシート」の作成配付、到達度学力調査の実施、漢字能力検定料の全額助成(小学校5・6年生対象)				
020	まなび交流学習事業費	学校教育	一致	間接・補完	B
	小規模校と中規模校校間で、音楽、体育、総合的な学習の時間等で行う交流学習を支援(笹間地区5回、大迫地区2回)				
030	体力向上実践推進事業費	学校教育	一致	間接・補完	B
	実践校を指定し、各校の特色を生かした基礎体力向上のための取組を支援(小学校3校)				
040	小学校外国語教育推進事業費	学校教育	一致	直結	C
	各小学校に外国語教育支援員及び外国語指導助手(ALT)を派遣(19校、小学校3～6年生の外国語の授業に派遣)				
050	中学校外国語教育推進事業費	学校教育	一致	直結	B
	各中学校に外国語指導助手(ALT)を派遣(11校)、英語検定料助成(中学生が受験する英語検定の受験手数料を生徒1人当たり年間1回まで市教育委員会が負担)				
060	学校保健事業費	学務管理	一致	間接・補完	A
	児童生徒や教職員の健康保持のための学校医の確保や各種健診の実施、生活習慣病予防健診受診者数(小学校4年生 632人 異常なし83.70%)(中学校1年生 635人 異常なし84.41%)				
070	小中学校スポーツ振興事業費	学校教育	一致	間接・補完	-
	花巻市内小・中学校体育連盟の活動を支援(補助金交付件数:1件)				
080	修学旅行キャンセル料支援事業費(小学校)	学校教育	一致	直結	-
	修学旅行を中止又は延期したことにより発生したキャンセル料に係る経済的な負担軽減(補助金交付0校)				
090	修学旅行キャンセル料支援事業費(中学校)	学校教育	一致	直結	-
	修学旅行を中止又は延期したことにより発生したキャンセル料に係る経済的な負担軽減(補助金交付9校)				